



## おめでとう・おくやみ

10月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者と性別

▷船越 佐々木力斗（菜奈・男）、横田碧斗（徳幸・男）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

五十嵐幸太（船越）・吉田蘭（大槌町）  
高屋敷拓馬（宮古市）・佐々木菜奈（荒川）  
清水翔平（船越）・横田香佳（織笠）  
服部亮祐（川向町）・菊池佳（遠野市）

〔死亡〕（ ）は年齢

▷山田 佐藤雄一（70）  
▷船越 佐賀智知子（60）、蛇石美智子（84）  
▷田の浜 山崎フツエ（82）  
▷大浦 村井繁治（87）、山崎さかえ（39）  
▷織笠 佐藤いく子（66）、大釋利夫（87）  
阿部勝男（78）  
▷大沢 佐保ヒメ（74）  
▷石峠 豊間根光（21）  
▷荒川 佐々木善美（93）、佐々木マツ（99）

## 町民のうごき

（10月1日～31日）

▷出生……3人   ▷転入……24人  
▷死亡……16人   ▷転出……32人

▷人口…16,455人（今月減21人）  
男…8,016人 女…8,439人  
▷世帯数………6,733世帯

◆トンネル貫通祭を取材。貫通したばかりのトンネルに入ると、貴重な体験をさせていたいただきました。これからも貴重な体験を求めて、さまざまなイベントを取材したいと思います。少年空手道大会を取材。蹴りや突きにタイミングを合わせるのに一苦労でしたが、何とか表紙写真を撮れました。一方、今回も相変わらず締切日に紙面編集のクリが付きません（汗）



正



「広報やまだ」は環境に優しい再生紙と大豆油インキ（植物油）を使用しています。



野田 惺 互  
（大浦・光治・男）



甲斐谷 旭  
（飯岡・孝二・男）

※敬称略、（ ）内は地区名・保護者・性別です。



奥間 柚 梨  
（石峠・佑介・女）

## 町の特産品使い6次産業化

### 「やまだ饅」レシピ発表会開催



11月13日に町中央コミュニティセンターで、「やまだ饅」レシピ発表会が開催されました。「やまだ饅」は、町内の飲食店とシイタケ生産者の芳賀隆さん、カキ生産者の中村敏彦さんが連携して開発。これは宮古農林振興センターが実施した6次産業化支援事業を利用したものです。小麦は岩手県産の「ねばりごし」を使用し、料理研究家の小野寺恵さんがレシピ開発に携わりました。発表会では、飲食店に勤める川村将崇さんが「山田の特産品を誰でもできる作り方で調理して食べてもらうために開発しました」とあいさつ。その後、小野寺さんが実演を交えて作り方を説明しました。説明を聞きながら調理した「やまだ饅」を食べた参加者らは「シイタケの風味がよく出ている」「カキが丸々1個使われているので食べ応えがある」などと話し、初めて口にすると味わいを楽しんでいました。

## INTERVIEW

今回、レシピを開発する際に特徴のある料理にすることを心掛けました。その結果、カキの風味とシイタケの味わいの両方を生かすものに仕上がりました。新たな姿になるようにしている山田町で、このように新しい料理のレシピ開発に携わることができ、うれしく思います。



小野寺 恵さん